

都市再生整備計画

おおいずみまちちゆうしんきよてん ち く
大泉町中心拠点地区

ぐんまけん おおいずみまち
群馬県 大泉町

令和6年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

都道府県名	群馬県	市町村名	大泉町	地区名	大泉町中心拠点地区	面積	10.2 ha
計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 8 年度	交付期間	令和 6 年度 ~ 令和 8 年度				

目標
 大目標 新庁舎建設に併せた周辺環境の整備を軸とした賑わいのあるまちづくりの推進
 小目標① 新庁舎前に、様々なイベントが開催でき、多くの人が快適に過ごせる広場を整備し、町民をはじめ、町外からの来町者の交流を促進し、人口の維持を図る。
 小目標② 広場周辺に道路や歩道、バリアフリー対応公衆トイレを整備し、広場を安全安心に利用できるような環境整備を行う。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
 【まちづくりの経緯】
 ・大泉町は、群馬県の東南に位置し、東は邑楽町と千代田町、西から北にかけては太田市、南には利根川を挟んで埼玉県熊谷市と隣接している。面積は18.03km²で、県内で一番小さい自治体であるが、令和5年8月末現在の総人口は41,515人で、県内の町村では最も多く、そのうち8,254人の外国人も生活を営む国際色豊かな町となっている。
 ・昭和32年、小泉町と大川村が合併した誕生した本町は、昭和35年に「首都圏市街地開発区域」の指定を受けてからは企業誘致を積極的に進め、北関東でも屈指の製造品出荷額を誇るとともに、いずみ緑道をはじめとして公園や街路などの都市施設整備を積極的に進め、美しい都市景観を持つ町となっている。
 ・ものづくりの町として発展を続け、多くの優良企業が本町に進出している中、関連企業には多くの外国人が就労し、町民の約20%が外国人であり、外国人人口が急増した平成2年の入管法改正以来、多文化共生施策を積極的に推進している。
 【まちづくりの現況】
 ・本町は、面積が小さく市街化区域も広いため社会基盤の整備は進んでいるが、町の人口ビジョンでは、全国的な動向と同様に人口減少が見込まれている。
 ・そのような中、活気があり魅力あふれる地域づくりを行い、町の人口減少を抑制させるため、役場庁舎、駅を中心としたさらにコンパクトなまちづくりを推進している。
 ・その取り組みとして、現役場庁舎隣接地に用地を取得し、新庁舎の建設や敷地内に様々なイベント等が実施できる多目的広場の設置、将来的に公共施設の集約を検討するなど、町の賑わいを創出する場を設けるとともに、小泉町駅の北西部において、企業を誘致し新たな雇用創出するための新産業団地の開発を計画している。

課題
 ・コンパクトで利便性の高いまちづくりを推進し、人口減少を抑制させる必要がある。
 ・町内には、規模の大きいイベントの開催に適した場がなく、町のにぎわいを創出するため、町民や来訪者の交流や憩いの場となる快適な空間を整備する必要がある。
 ・属性に関わらず、様々な人が広場を安全安心に利用できるよう、バリアフリー対応公衆トイレのほか歩道未整備の道路に歩道を整備する必要がある。

将来ビジョン(中長期)
 ・町民、来訪者を問わず、全ての人に安全・快適に利用される広場等を新庁舎建設敷地内に整備し、イベント等の開催による本町の魅力発信、賑わいのあるまちづくりを目指す。
 ・広場を活用した町の魅力発信を行い、交流人口や関係人口を増加させるほか、公共施設を集約し、住民の利便性の向上を図り、人口の維持につなげていく。

都市再生整備計画事業の計画
拠点となる施設の設定方針
 ・本町が運行している高齢者等デマンド交通の利便性を維持するため、乗降所を設置する拠点施設として、役場庁舎をはじめとする公共施設のほか、スーパー等の商業施設、町内医療機関、鉄道駅等を設定している。(具体例:図書館、文化むら、公民館、町営住宅、小中学校、金融機関、郵便局、ドラッグストア、西小泉駅、東小泉駅、小泉駅)
 ・特に役場庁舎は、本町の中心に位置し、行政手続きや各種相談等、町民の利用頻度の高い施設であることから、拠点施設として設定し、整備計画に基づく庁舎敷地内の整備を行い、利便性の向上を図る。

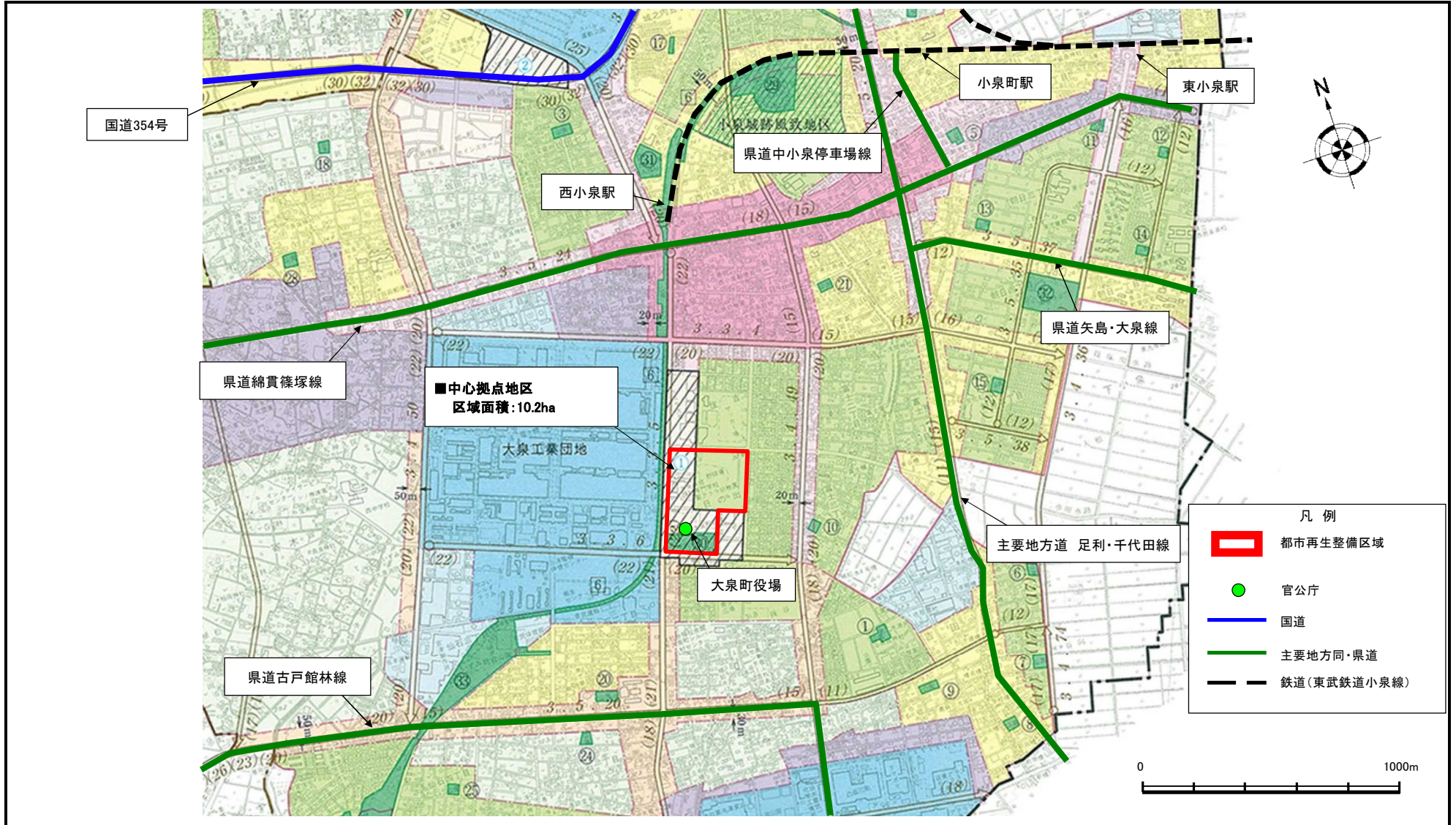
目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
人口の維持	人	住民基本台帳ベースの人口	関係人口や交流人口の増加や住民の利便性の向上により移住・定住を促進することにより人口の維持を図る	41,515	R5年度	41,500	R8年度
広場でのイベント開催数	回	整備する広場等において開催するイベントの開催数	本町の魅力発信、賑わいのあるまちづくりを推進するため、広場等を活用したイベントを開催する	0回	R5年度	6回	R8年度
大泉町を魅力的なまちとして伝えたいと思う人の割合	%	町民満足度・意識調査における設問「大泉町を魅力的なまちとして伝えたいと思うか」における「とても思う・やや思う」の割合	広場を活用したイベント等により、町の魅力を広く発信し、町の魅力度を向上させる。	50.7%	R5年度	58.5%	R8年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【魅力あふれる交流拠点の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町のにぎわいを創出するため、多くの人が行き交い、交流できる広場を創設する。 ・様々なイベントなどで、町内外から多くの人気が気軽に集い、滞留し、憩いの場として広く活用できる空間とするとともに、町の魅力が発信できる場として整備する。 	<p>【基幹事業】(地域生活基盤施設 広場)多目的広場整備事業(仮称)</p>
<p>【安全に移動や利用ができる広場周辺歩道等の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場周辺の道路や歩道等については、安全・快適に過ごせる設備として、広場と一体的に整備する。 ・属性にかかわらず、誰もが安全に利用できるバリアフリー対応公衆トイレを整備する。 	<p>【基幹事業】(道路)新庁舎西側歩道新設工事(仮称) 【基幹事業】(道路)多目的広場周辺道路新設工事(仮称) 【基幹事業】(高質空間形成施設)バリアフリー対応公衆トイレ設置工事(仮称)</p>
<p>その他</p>	

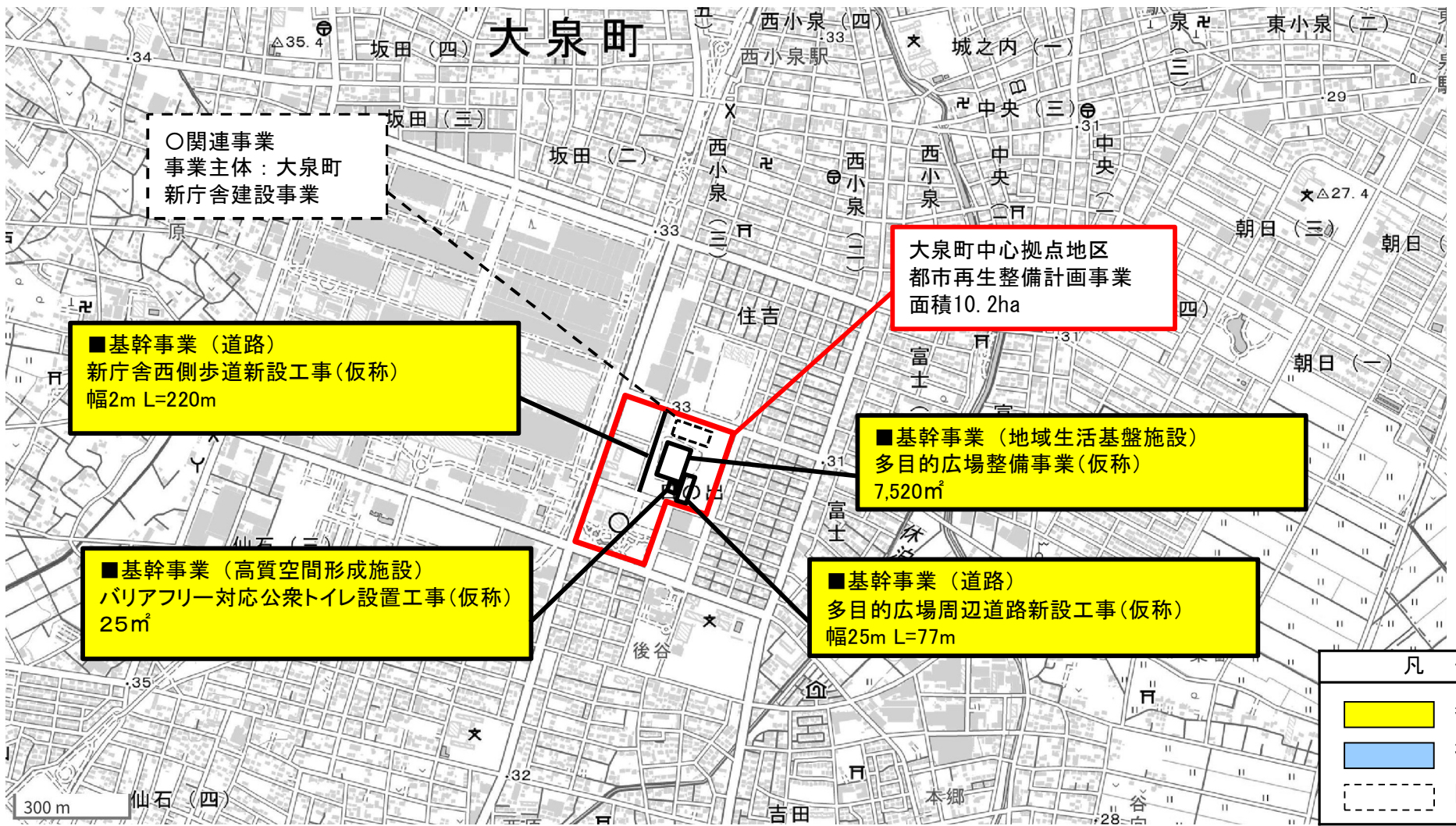
大泉町中心拠点地区(群馬県大泉町)

面積	10.2 ha	区域	大泉町住吉の一部および日の出の一部
----	---------	----	-------------------



大泉町中心拠点地区(群馬県大泉町) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金))

目標	大目標 新庁舎建設に併せた周辺環境の整備を軸とした賑わいのあるまちづくりの推進 小目標① 新庁舎前に、様々なイベントが開催でき、多くの人が快適に過ごせる広場を整備し、町民をはじめ、町外からの来町者の交流を促進し、人口の維持を図る。 小目標② 広場周辺に道路や歩道、バリアフリー対応公衆トイレを整備し、広場を安全安心に利用できるような環境整備を行う。	人口の維持	人	41,515	(R5年度)	→	41,500	(R8年度)
	代表的な指標	広場でのイベント開催数	回	0	(R5年度)	→	6	(R8年度)
		大泉町を魅力的なまちとして伝えたいと思う人の割合	%	50.7	(R5年度)	→	58.5	(R8年度)



○関連事業
事業主体：大泉町
■新庁舎建設事業

大泉町中心拠点地区
都市再生整備計画事業
面積10.2ha

■基幹事業（道路）
新庁舎西側歩道新設工事(仮称)
幅2m L=220m

■基幹事業（地域生活基盤施設）
多目的広場整備事業(仮称)
7,520㎡

■基幹事業（高質空間形成施設）
バリアフリー対応公衆トイレ設置工事(仮称)
25㎡

■基幹事業（道路）
多目的広場周辺道路新設工事(仮称)
幅25m L=77m

凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業